

校訓
広い心で さわやかに



令和4年度

和光市立広沢小学校

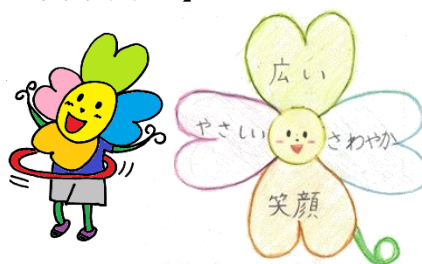
学校経営方針

学校教育目標
未来を拓く児童が育つ

【広沢小イメージキャラクター】



【「さわやかに」】



【「よつひろ」】

1 学校教育目標

「未来を拓く児童が育つ」

今年度から学校教育目標を新しくしました。学校教育目標は、本校の現状や課題、成果等、また今年度保護者の皆様から頂いたアンケート等におけるご意見等を踏まえ、「児童が育つ姿」として示していけたらと考えています。また、社会の進展がこれまで以上に加速する中、必ずしも長年にわたって固定しなければならないものでもありません。一方で短いスパンで変えていくことは、方針にブレが生じてしまい、児童に良い教育活動を提供できません。国や地方自治体等の動向を見ながら、おおむね5～10年程度の中・長期的な目標として示していきたいと考えています。

なお、これまでの学校教育目標「広い心でさわやかに」は、「ひろさわ」の言葉を使った、子供も大人も日頃から意識する言葉として広くなじんできたことから、今後も変わることはない「校訓」とし、引き続き示してまいります。

「未来」とは、個人の未来であり、社会の未来でもあります。また、将来大人になる頃の未来であり、今解いている問題を解く数分、数秒後の未来でもあります。

広沢小学校には、世界各地から転入してくる子供たちがたくさんいます。一人一人の現在地や目指すゴールはそれぞれ違い、時点やスパンによっても多種多様です。児童は日々の学びを通して少しずつ力をつけながら成長していきますが、その積み重ねが自分や社会を切り拓いていく力となり、自分や社会の幸せにつながらなければなりません。将来自らが享受する幸せの形も人それぞれであることは言うまでもありませんが、それぞれの幸せが社会の幸せにつながり、社会の幸せが自分の幸せにつながるものでなければなりません。Society5.0 に代表されるように、今後ますますテクノロジーが発展する未来、一方で、VUCA に代表されるように、先行き不透明な未来を生き抜くためには、児童が学びを通して成長し、自分や社会の未来を拓くことが大事なことであります。

以上のことから、この目標を、児童一人一人の現在地や将来を大切にすよい言葉と捉え、学校教育目標とします。

2 目指す児童像

「未来を拓く児童」を広沢小では次の3つを具体的な児童像とし、学校の教育活動が、児童の育つ環境の醸成につながるよう努めてまいります。

○ 主体的にやりぬく子「挑戦・責任」

何事にも主体的に取り組み、最後まであきらめずにやり抜く子が育つようにします。

○ みんなを大切にする子「協働・対話」

友達と協力して物事に取り組んだり、相手の気持ちに寄り添って行動したりできる子が育つようにします。

○ より深く考える子「深化・創造」

将来、新たな価値を生み出せるようにするために、物事をより深く考える子が育つようにします。

3 目指す学校像

「新しい学びの広沢『笑・楽・幸／省・楽・効』」

○ **学びが楽しい「笑・楽・幸」** 大人も子供もワクワク学ぶ。
子供の学びをよりよくするために、大人の学びも充実します。

○ **仕事楽しい「省・楽・効」** 大人も子供も生き生き働く。
大人も子供も一緒に学校をつくっていきます。

広沢小学校が目指す学校像は、新しい学びを通して、子供も大人も楽しく学び楽しく働く学校であることです。「笑楽幸」は目指す学びのイメージで、笑顔で楽しく幸せになる学びを創造していきます。また「省楽効」は目指す働きのイメージで、振り返り(省察)を大切に、無駄なことは省きつつ、効率的・効果的な働きを通して学校教育を創造していきます。これらのことは子供や大人に限定することなく、全てのステークホルダーが意識していく学校像です。子供たちの学校づくりへの参画も大きな学びの一つと捉え、進めてまいります。

4 本年度の重点目標

学校教育目標の具現化に向け、令和3年度の学校評価を基に、令和4年度の重点目標を、以下の通りとし、重点的に改善を図ってまいります。

(1) 教育活動

① ICTの有効活用や主体的・対話的で深い学びを志向した授業改善

ICTの教育効果を高めるICTの有効活用や、子供が主体となり、他者との対話を通して学びを深めていけるような授業の改善を進めてまいります。

② 系統的・横断的なカリキュラムのマネジメント

ICTや地域の教育資源の活用を積極的に推進し、教科横断的な視点と、発達段階を踏まえたカリキュラムをマネジメントしてまいります。

③ 一人一人に寄り添った生徒指導・教育相談体制等の充実

規律ある態度など、学校としての取組の充実を図るとともに、子供たちや保護者がいつでも気軽に相談できる教育相談体制を整備します。

(2) 学校づくり

① ICT活用や家庭・地域との連携推進等新しい学校づくりの推進

学校運営等にICTを積極的に活用していくとともに、学校での指導の方向性や内容を保護者や地域の方々と共有するなど、新しい学校づくりに努めてまいります。

② 個の力量形成と経営改善にコミットした研究・研修の充実

研修の充実を通して、教職員一人一人の力量を形成し、よりよい教育実践を進めるとともに、学校課題を組織で研究し、その改善に努めてまいります。

③ 教育効果を高め、働き方改革を推進する学校の組織等体制整備

教職員一人一人の力量が子供たちのより良き成長につながるよう、校内の組織や運営体制等を見直してまいります。

【校訓】

ひろい心で さわやかに



学校教育目標

「未来を拓く児童が育つ」



【目指す児童像】

主体的にやりぬく子 「挑戦・責任」

・何事にも主体的に取り組み、最後まであきらめずにやり抜く子が育つようにします。

みんなを大切にする子 「協働・対話」

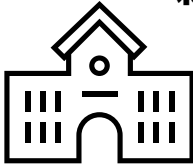
・友達と協力して物事に取り組んだり、相手の気持ちに寄り添って行動したりできる子が育つようにします。

より深く考える子 「深化・創造」

・将来、新たな価値を生み出せるようにするために、物事をより深く考える子が育つようにします。

【目指す学校像】

「新しい学びの広沢『笑・楽・幸／省・楽・効』」



- **学びが楽しい「笑・楽・幸」** 大人も子供もワクワク学ぶ。
子供の学びをよりよくするために、大人の学びも充実します。
- **仕事楽しい「省・楽・効」** 大人も子供も生き生き働く。
大人も子供も一緒に学校をつくっていきます。

令和4年度 学校経営方針

【令和4年度 重点目標】

1 教育活動

- ① ICTの有効活用や主体的・対話的で深い学びを志向した授業改善
- ② 系統的・横断的なカリキュラムのマネジメント
- ③ 一人一人に寄り添った生徒指導・教育相談体制等の充実

2 学校づくり

- ① ICT活用や家庭・地域との連携推進等新しい学校づくりの推進
- ② 個の力量形成と経営改善にコミットした研究・研修の充実
- ③ 教育効果を高め、働き方改革を推進する学校の組織等体制整備

【学校経営マネジメントのイメージ】

